

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県海南市 海南医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	対象	ド訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,492	10,377	非該当	非該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

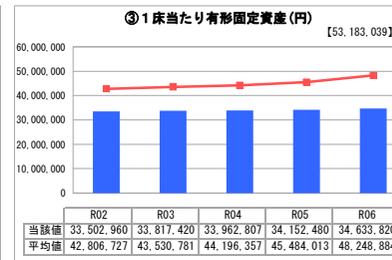
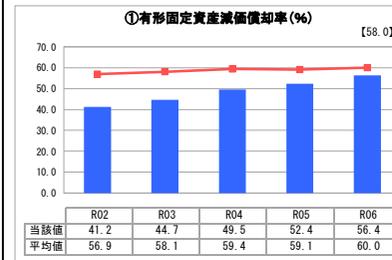
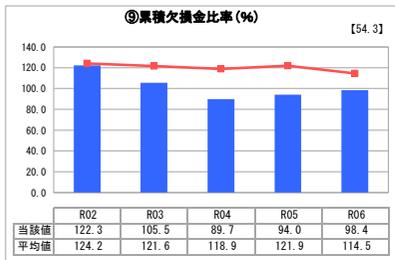
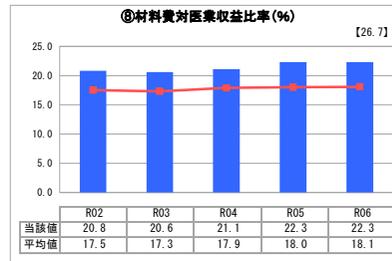
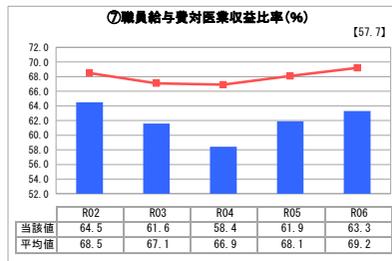
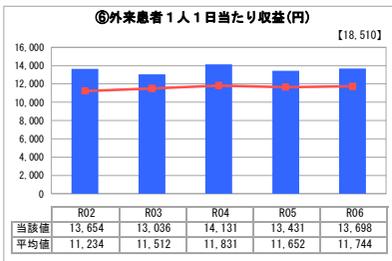
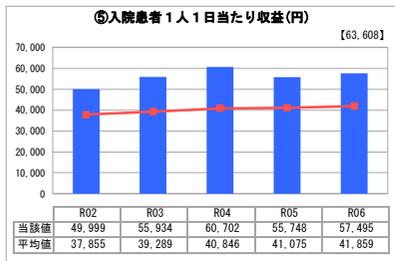
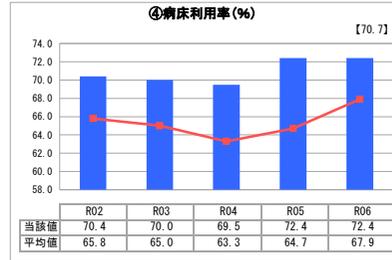
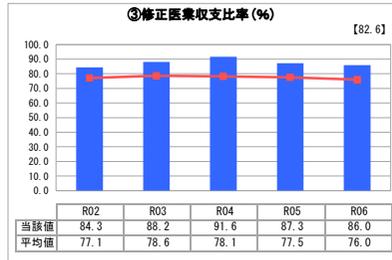
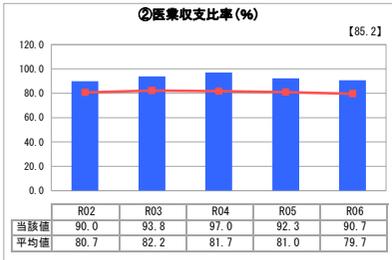
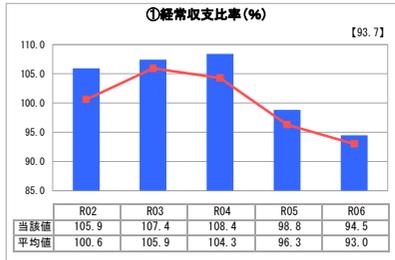
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
150	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
142	-	142

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分・業務種別 (従来の取組・ネットワークを考慮)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

救急医療・小児医療の役割を担っており、急性期の病院として救急受入体制を堅持し、救急や下り搬送の受入れなど積極的に取り組み、同時に地域医療機関との連携強化を図り、紹介・逆紹介の促進や適切な退院支援に努めてきた。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

事業収益について、前年度と比べ医業収益は増加したが、国・県補助金の減額により医業外収益が減少し、事業収益は前年度を下回る結果となった。
事業費用については、材料費などのコスト増に加え、給与費が大きく増加したことで前年度を上回る結果となり、経常損益が、229,736千円の経常損失となった。
経常収支比率、医業収支比率、修正医業収支比率とも100%を下回り、前年度より低下する結果となったが、特に経常収支比率は、98.8%から94.5%と下落率が大きくなった。

2. 老朽化の状況について

平成25年3月に新築移転、有形固定資産全体での減価償却率は平均値を下回る状況が続いているが、器械備品の減価償却率においては、医療情報システム更新に係る償却期間が終了したこともあり令和6年度は平均値を上回る結果となった。
今後とも器械備品などの更新時期については、負担の平準化や経営状況などを勘案しながら、計画的な設備更新を進めていく。

全体総括

令和6年度の病床利用率は前年度と変わらず、救急搬送受入件数も901件と近年においても高い実績を残したが、経常損益が229,736千円の経常損失となり、前年度に引き続き赤字となった。
また、令和6年度診療報酬改定では、当該のような中小規模の急性期病院にとって厳しい内容となり、経常損益の改善はさらに難しい状況となっている。
そのような中、当院では引き続き、地域医療機関との連携強化や救急の受入れなど救急受入体制の強化を継続して収益増を図りながら、計画的な設備投資や補助制度等の活用などにより、企業価値や減価償却費負担の低減・平準化を図り、安定的な病院運営を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。